

令和元年度 1 2 月教育委員会 会議録

開催日時	令和元年 1 2 月 2 0 日 (金) 15:00~17:00	
開催場所	早島町町民総合会館 研修室	
出席者	委員	徳山順子教育長、大森茂委員、竹井成範委員、栗坂祐子委員 綾野克紀委員
	事務局	黒木克美生涯学習課長、貝畑和明学校教育課長、猪木浩二課長補佐 石原知子主幹
会議次第	<p>1 開会 教育長あいさつ</p> <p>2 議事・報告案件</p> <p>(1) 学力向上に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力定着状況確認テスト設問別調査結果について ・秋の学習状況調査集計結果について <p>(2) 長期欠席や不登校の状況について</p> <p>(3) 義務教育学校に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設部会 ・カリキュラム部会 <p>(4) その他</p> <p>3 連絡</p>	
会議資料		
傍聴者	なし	
会議録作成者	石原 知子	

会議内容

<p>1 開会</p> <p>教育長あいさつ</p> <p>教育長：議会一般質問が終わり、先ほど議会が閉会した。今回、役場職員の不幸事があり、18日に1名が懲戒処分となった。町民の信頼を取り戻すべく全職員で一丸となって真摯に取り組んでいきたい。</p> <p>町内の高校2年生二人が、用水路に落ちた女性を協力して助けたという大変うれしい内容の記事が全国新聞に掲載された。県外からも、「新聞見ましたよ。素晴らしい行動力のある子どもたちですね。」と声をかけていただき、大変うれしく思う。今日も何件か教育委員会に町民の方から喜びの電話があり、大いに励まされた。高校生の善行を心からうれしく思う。</p>
--

11月23日には、花ごぎピンポン世界大会が早島中学校で行われ、県内外からの参加が140名以上あり、最後はお断りをしたぐらいだった。実行委員としての中学生・高校生の活躍もすばらしく、大会は大いに盛り上がった。中学生が開発した早島もりもりバーガーや宇喜田秀家饅頭、早島プリンは大変好評で、すぐに完売した。来年度もキャリア教育の視点から、商品開発を続けていきたい。

2 議事・報告案件

(1) 学力向上に向けて

教育長：11月に小学4年生から中学2年生までの児童生徒が、学力定着状況確認テストを行った。結果から、算数・数学が全国平均よりも低く課題がある問題が多いことが明らかになった。授業改善とともに基礎基本に力を入れていきたい。

栗坂委員：図形の弱さは、担任の意識の弱さにもあるのかもしれない。数と計算などは、力が入るが図形は算数的活動に重きが置かれて、知識の定着が十分でないのかもしれない。次の学年にきちんと力を付けて送り出すことが大切だということがよくわかる。

大森委員：多様性を許容する社会ではあるが、学習に関して基本の定着は、すべての子どもたちに必要だ。

教育長：基本を大切にしながら、学んだ知識を活用に生かすことが必要だ。算数・数学は実生活に大いに役立つものだし、楽しさを知ってもらいたい。

綾野委員：円は180度という基本ができていないかもしれないし、さらに活用するとなるとハードルが高い。問題作りも大変だと思う。

教育長：3学期には、この結果を踏まえて、授業改善に役立てていきたい。また、家庭学習もねらいを明確にして課題を出すよう指導していきたい。算数・数学は積み上げの教科なので、各学年段階できちんと理解を積み重ねたい。学力定着状況確認テストについてはよろしいか。

全委員：了承した。

(2) 長期欠席や不登校の状況について

教育長：岡山県全体で、長期欠席・不登校児童生徒数が非常に増えてきている。早島町も例外ではなく、増加傾向にある。

栗坂委員：学校に行きにくい児童生徒をもつ保護者と懇談する機会や場所はあるのか。保護者の気持ちを軽くすることが大切だと思う。

教育長：教育委員会では、学校に行きにくいお子様のいる保護者の方を対象に、年に何回か教育相談日を設けている。保護者の方の気持ちや思いに寄り添いながら、アドバイスや学校とのつながりをつけていきたい。お話をした保護者の方は、相談に来たのに自分の心が軽くなったと言ってくれる。いつでも相談は受け付け

ているので、気軽に相談に来ていただきたい。

大森委員：最近は、大人にも閉塞間があり、心の病にかかったり、勤務ができなくなったりしている事例が多くなってきている。周りが許容する雰囲気が必要だ。

綾野委員：子どもの長期欠席には、原因は一つではなく複雑な要因が絡み合っていると思う。統合失調症などの病気とその他の原因は分けて考えることが必要ではないか。

教育長：原因についてはいろいろな要因が考えられ、国では欠席日数が年30日以上休んでいる児童生徒を長期欠席としている。先生方も、子どもの気持ちに心のエネルギーが溜まるように丁寧に関わってくれている。休むことは決して悪いことではなく、心のエネルギーがなくなれば身体を休めることも必要。教育委員会としても学校と一体となってサポートしたい。

綾野委員：9月以降の欠席が増えているようだが、毎年の傾向か。

栗坂委員：長期休業後は、欠席者が増える傾向にあり、毎年の傾向だと思う。

大森委員：効果のある対策があれば、それを試してみることも大切だと思う。

教育長：これからも学校・家庭と連携して取り組んでいきたい。気軽に相談できる体制を続けたい。長期欠席・不登校についてはよろしいか。

全委員：了承した。

(3) 義務教育学校に向けて

教育長：施設部会については、岡山理科大学の平山先生にお越しいただき、義務教育学校の施設部会を開き、毎月検討を重ねている。先日、全国の義務教育学校71校に調査表を送付し、施設とカリキュラムについてのアンケートを行った。12月12日現在で、58校からの回答があった。

教育長：近年は、大規模校が義務教育学校にする傾向がある。早島中学校の敷地に義務教育学校を建設することは、アンケート結果からみれば、数値的にぎりぎり可能かどうかというところだ。運動場に余裕がない感じだ。

竹井委員：文部科学省に設置基準はないのか。

大森委員：設置について、情報をまとめていくことが大切だと思う。町民も参画意識を持つことが必要ではないか。

教育長：今は、内部での検討段階であり、方向性を示せる段階ではない。検討を重ねて、3月までに一つの方向性が出ればと思う。

綾野委員：早島町は、土地がないわけではないが、予算のことを考えると事業として何ができるかということになる。理想だけ言うと中学校にある山の上より、平地が良いのではないか。

竹井委員：早島町として、30年先・50年先を考えたときに何が一番良いことなのか。まだまだ、計画段階なので、企業を巻き込んで計画を進めていくことも一案だ

と思う。学校だけではなく、町全体を変えていくという方向で進めていけば、企業も様々な提案をしてくるのではないかと。町への提案として、実現可能な提案が必要になってくると思う。結局何年もかけて検討しても、お金がないのでできませんという結論になるのではないかと。学校は人づくりなので、どんな施設を造るよりも学校を造ることは大切だと思う。

教育長：義務教育学校について、熱心に協議をいただきありがたい。今後は予算との関係も入れながら、どのような提案ができるかも含めて検討していく必要があるようだ。義務教育学校についてよろしいか。

全委員： 了承した。

(4) その他

学校は、12月24日に終業式を迎えるが、冬季休業・3学期にも研修会や参観日等が計画されている。また、小学校6年生でふるさとソングを作成しており1月25日の小学校参観日には、お披露目される予定である。多くの地域の方に体育館に来ていただき、一緒に歌ってほしい。ドローンを飛ばしてビデオ作製もしたい。また、1月26日には、百間川である「晴れの国駅伝」に初参加をする。選手は皆町代表として頑張りたいと言っている。応援をよろしくお願ひしたい。

3 連絡

- ・ 1月教育委員会 1月17日（金） 11時30分～14時30分
早島幼稚園 2階 遊戯室